



ここから深まる中高の連携!

課題研究テーマ交流会が開催されました

6月20日(火)に中高合同の「課題研究テーマ交流会」が開催されました。この取り組みは今年初めて行われたものであり、これまで以上に年齢や学年の枠を越えて高校生との関わりを深める機会となりました。中学3年生3人と高校生4人のグループを中心に交流しました。初めはコミュニケーション相手が先輩ということもあり緊張感が見られましたが、アイスブレイクなどを通して次第にうち解けたようです。中学生から積極的に発言する場面も見られました。高校の先生方からも、「中学生は積極的に素晴らしいですね。」という言葉も多くいただきました。

今回、自分の考えている課題設定についてもらった様々な意見や感想を今後の活動につなげます。



感想から(中学生)

- ・失敗も実験結果の大事な一つと聞いて、勇気が付きました。高校生も身の回りのことについて調べていてなにかヒントになりそうなことがちょこちょこあったので良かった。
- ・中学生に聞いたことと高校生の意見は全然違ったから、新しい発見があった。沢山の意見があったから課題研究がとても進みそう。
- ・高校生や先生たちが自分の課題を聞いて、伝えてくれたことが非常に役に立って、新たな課題の広げ方に繋がりました。また、他の人の考え方にも関心が湧きました。
- ・高校生と交流をしてみて自分が考えられなかったことを考えることができました。課題研究の目的を的確にすることが大切だと感じました。

感想から(高校生)

- ・みんなの研究テーマがとても面白くて聞いていて面白かったし、自分と似ている研究テーマがあってそこからは自分の研究にもつながるような案があってとても役に立ちました。
- ・中学生の人たちと交流できていろんな視点から自分のリサーチクエスチョンについて考えることができたのですごく良い交流が出来たと思います。
- ・中学生が自分ひとりで課題研究をしていることに驚きました。
- ・自分たちの考えた課題研究テーマの検証方法が多くて困っていたが、中学生、高校生との交流で解決方法を見いだせた。